「多主体協働による地域課題の解決」を目指して

第2部　テーマ別報告会(③災害・見守り)

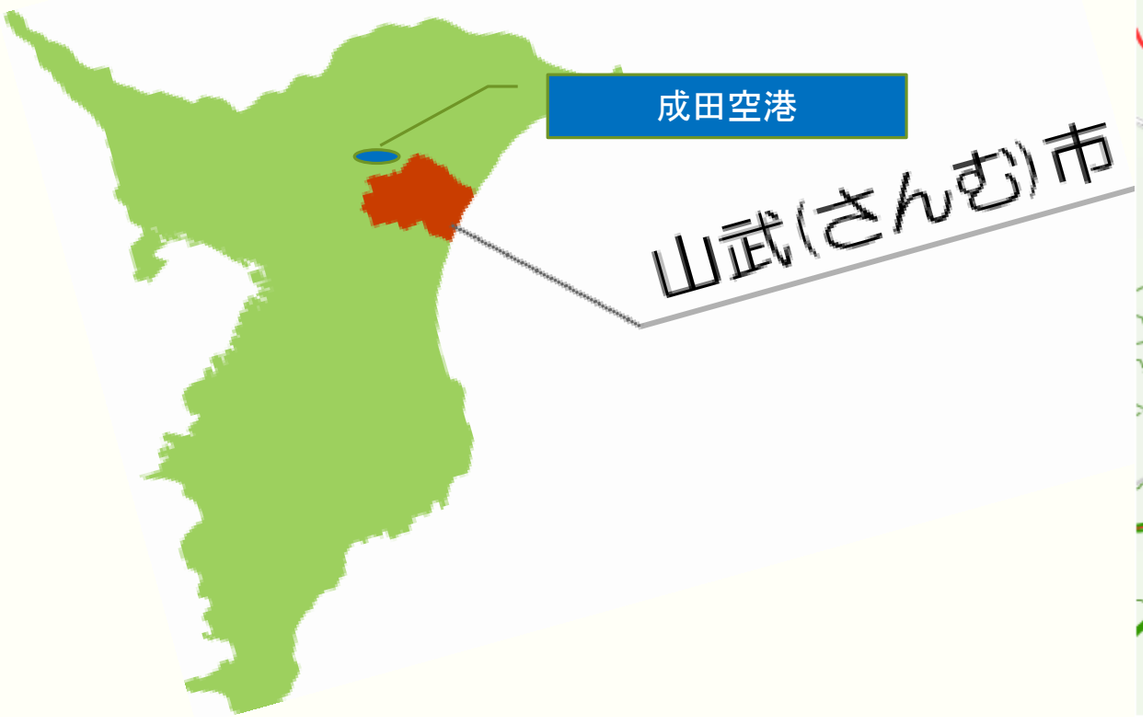
～千葉県山武市～
災害時：高齢者の安否確認と情報伝達の課題

日時：令和２年２月１８日（火）
会場：**埼玉県立大学**

発表者：千葉県山武市
保健福祉部高齢者福祉課
高齢者福祉係長　五木田祐子

山武市の概要

	住民基本台帳	備　考
人口	５１，１４６人	平成18年3月市町村合併(成東町、山武町、松尾町、蓮沼村) 市の木:スギ、市の花:ノギク、市の鳥:ウグイス 農林業、観光業が主産業
65歳以上人口	１７，５８９人	
高齢化率	３４．４％	
		※令和２年 ２月 １日現在



令和元年台風15号(9月8日)・19号(10月12日)
大雨(10月25日)災害による主な被災状況

1．過去に経験のない倒木を誘因とする広範囲で長期間の停電

2．停電によるライフラインの障害

3．大雨冠水による道路等の寸断

停電

倒木

冠水

令和元年度
災害から見えた高齢者対策(見守り等)の課題

①安否(居所)確認の手段

・広範囲の停電かつ、通信機器(固定電話・携帯電話・インターネット等)が一斉に遮断し、市役所の電話も一時送受信不能となり、高齢者側からのSOS発信を受け取りづらい状況に。
・通信(電源)手段を喪失したことで、平常時のネットワーク(緊急通報装置等)も機能不全に。

②避難及び避難誘導の手段

・移動手段(自家用車等)がなく、自力で避難所まで来れない場合の輸送手段や自宅で過ごす方への水や食料配布のための人員確保の課題。
・防災行政無線での放送が聞こえづらいという声も多くあり、高齢者への情報伝達手段の課題。

高齢者の災害対策、見守り機能の強化に向けて

少子化

担い手の不足

要介護（支援）認定者の増加

単独・高齢者のみ世帯の増加

認知症高齢者の増加

担い手の不足

●多主体連携による担い手不足の解消

超高齢社会を迎え、各分野で担い手不足が叫ばれる中・・・

【IoTの活用】

・(電源喪失時でも可能な)AI等による安否確認と情報伝達

・自動運転車による避難所輸送

【人員派遣等】

・災害初期時と中長期時に分類した要員支援(マニュアルの提案含)

・協定等書面締結後の実践訓練における協力

ご清聴ありがとうございました。

山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

《問い合わせ先》
山武市保健福祉部高齢者福祉課高齢者福祉係
〒289-1392
千葉県山武市殿台296番地

電話：0475-80-2642
FAX：0475-80-2650
Email：sammushakyo@etude.ocn.ne.jp